

新潟市テニス協会の皆様へ



会長 前田 奉司

ご挨拶

「テニスが助けてくれた人生」

皆様、始めまして。

この度、岡前会長の後を受けて、歴史のある新潟市テニス協会会長に就任いたしました前田でございます。

この機会に、皆様へのご挨拶を兼ねて私のテニスに対する情熱とこれまでの人生でのテニスとの係わりにつき述べさせていただきます。

子供のころから運動は好きで水泳、野球、マラソンに熱中し、特にマラソンでは兵庫県の駅伝大会などに中学代表で2年生から出場していました。

テニスは、18歳のころから大学時代を通じて軟式テニスをやっていました。

テニスプレーヤーとしては何も実績はありませんが、何事にも「あほ」(関西弁)になってとことん正面から向き合うという生き方はテニスを通じて学んだことであり、現在も自分の生き方となっています。又、学生時代試合に負けて泣いたり、笑ったり、厳しい合宿で築いた先輩、後輩とのすばらしい関係は50年たった今でも変わりません。

社会に出てからは、20歳代は、独身寮にあったテニスコートで早朝からテニスをしてから出勤するという元気な時代もありましたが、30-40歳代は、仕事、ゴルフ、家庭生活等に紛れてテニスに十分な時間をとることは出来ませんでした。

仕事の関係で10数カ国を渡り歩き、特にロシアには5回合計20年以上駐在しました。その際、夫々の地でその地の人たちとの交流を助けてくれたのがテニスでした。どの地でもテニスのおかげで現地の人たちとの交流を深めることが出来たのは本当に幸いでした。

ソ連時代のモスクワに駐在時代には、ソ連が最も安定していた時代でしたがロシア人との個人的な付き合いはあまり許されず、テニスも日本人会の仲間で行っていました。

が、ソ連崩壊後ロシアになってウラジオストク、ハバロフスクなどに駐在した時は、祖国が崩壊したロシアの人達は、自信をなく、それまで信じていた社会主義の未来が水泡に帰し、何を信じてよいか分からない時代、そこから這い上がろうとして必死で頑張った時代、弱肉強食の時代、社会が安定し裕福な人たちも出てきた時代、それらのすべての時代に彼らの傍にいて一緒に彼らの苦しみ、喜びを見てきました。

ソ連時代とは全く異なり、自由に交流が出来るようになり、ロシア人の中に溶け込んでテニスを通じて彼らとすばらしい人間関係を築くことが出来ました。

こういう時代を通して、主義主張に関係なくテニスを通じて築くことが出来たロシア人たちとの信頼関係は誰にも誇れるものであると思っています。

日本人が一人もいないロシア人のクラブの中での試合への出場、テニスの後の彼らとの交流等々、単身赴任の私を思いやってくれる人たちばかりで本当に楽しい思い出ばかりでした。

こういう素晴らしい人間関係を日本のクラブの皆さんにも味わっていただこうと6年前、東京のクラブに声をかけたところ、東京の野津田クラブから25名程がハバロフスクまで来てくれました。それ以来、毎年、日ロ交互の地で親善交流会開催され、毎年規模が大きくなって来ております。DANLOP社もこの大会には全面的に協力してくれています。

ここまでやって来れたのも東京のクラブの人たちの熱い思いとそれを引き継いでくれた佐渡、新潟の皆様の熱意のおかげです。

このような素晴らしい民間交流が続いていることはお互いに誇りに思っています。

これまでの自分の人生をふりかえて見ると日本国内においても、外国に駐在していてもその地の人たちと一緒に何かに取り組むとき連帯感が生まれてきました。ウラジオストクにおいてもハバロフスクにおいても気候は厳しかったが、それだけに自分の秘書、仕事の関係先、日本との経済交流のために育ててきたロシアの若手ビジネスマン達、テニス仲間、そのほかの友達など現地の人たちとともに現地の経済を活性化するために日本との経済交流、モスクワ政府との交渉などに取り組んできました。外国に住んでみて特に感じることは、日本に対して熱い目を向けてくれる人たちが非常に多いということです。

これは日本国内において皆様が感じていることと逆です。お互いに如何に相互理解が足りないかを何時も強く感じておりました。

現在、私は新潟県庁と環日本海経済研究所で新潟と北東アジアとの交流活性化の為に様々な取り組みを行っております。

新潟を取り巻く環境は、国内だけでなく、北東アジアの国々の状況は急激に変化しています。これらの国々との相互理解と共存が新潟にとって不可欠です。経済、文化、スポーツの分野において新潟は日本国内および北東アジアの国々との交流の中心となれる資格が十分にあります。その為にはまずお互いの相互理解を深める事が必要です。テニスはそのためすばらしい橋渡し役になってくれると確信しております。

微力ながら皆様と共に頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

最後に、私自身下手ながらテニスに対する情熱だけは皆様に負けません。

今のところ、仕事の関係でテニスのために十分な時間が取れないのが残念ですが、他のスポーツはやめてもテニスだけは何時までも楽しみながら、技術の向上にも努めたいと思っています。機会がありましたら皆様にご指導頂きたくお願いいたします。

皆様のご健勝をお祈りしております。

平成22・23年度 新潟市テニス協会役員一覧

役職・委員会		氏名	役職・委員会		氏名
1	会長(新)	前田 奉司	39	理事 ジュニア委員長	尾崎 常博 ※兼任
2	副会長(新)	内山 正之	40	理事 ジュニア副委員長	長澤 昇一
3	副会長(新)	尾崎 常博	41	理事 ジュニア副委員長	阿部 文晴
4	会計監事	小川 広巳	42	理事 ジュニア委員	高松 茂雄
5	会計監事	服部 一郎	43	理事 ジュニア委員	山田 年彦
6	特別参与(新)	岡 澄夫	44	理事 ジュニア委員	加藤 功
7	特別参与(新)	幸田 達治	45	理事 ジュニア委員	山本 圭介
8	特別参与(新)	小松 尚友	46	理事 ジュニア委員	木了 由利
9	参与	今井 清雄	47	理事 ジュニア委員	高田 義典
10	参与	本間 博	48	理事 ジュニア委員	吉澤 真
11	参与	吉副 茂夫	49	理事 ベテラン委員長	田中 良樹
12	参与	横山 悟	50	理事 ベテラン委員	佐藤 文夫
13	参与	雪 薫	51	理事 ベテラン委員	米原 豊
14	参与	西海 幸頼	52	理事(新) トーナメント委員	藤井 文子
15	参与(新)	浜田 邦夫	53	理事(新) トーナメント委員	小林 光一
16	参与(新)	桑田 光輝	54	理事(新) トーナメント委員	尾身 康廣
17	理事長・事務局長	法龍院 充	55	地区理事 秋葉区 ベテラン委員	五十嵐 清四郎
18	理事 事務局会計担当 ベテラン副委員長(新)	石井 紀子	56	地区理事 秋葉区 ベテラン委員	渡邊 則男
19	理事 トーナメント委員長	谷口 親夫	57	地区理事 南区 トーナメント委員	米野 克律
20	理事 トーナメント副委員長	小林 俊明	58	地区理事 北区 トーナメント委員	五十嵐 賢人
21	理事 トーナメント副委員長	白井 浩昭	59	地区理事 西蒲区 トーナメント委員	石塚 健一
22	理事 トーナメント副委員長(新)	野口 穰	60	地区理事 西蒲区 普及委員	金澤 誠
23	理事 トーナメント委員	古泉 道雄	61	地区理事(新) 南区 トーナメント委員	渡辺 栄
24	理事 トーナメント委員	小林 夏子	62	地区理事(新) 江南区 トーナメント委員	曾我 直行
25	理事 トーナメント委員	佐々木 見莉			
26	理事 トーナメント委員	坪井 望			
27	理事 トーナメント委員	村木 和弥			
28	理事 トーナメント委員	早福 寿美子			
29	理事 トーナメント委員	小島 昌子			
30	理事 普及委員長	佐藤 泰司			
31	理事 普及副委員長	小池 美穂			
32	理事 普及委員	江川 三枝子			
33	理事 普及委員	田中 晃			
34	理事 普及委員	福本 順三郎			
35	理事 普及委員	木村 嘉彦			
36	理事 普及委員(新)	中川 雅彦			
37	理事 広報委員長	内山 正之 ※兼任			
38	理事 広報副委員長(新)	林 久			

※特別参与・・・歴代会長・副会長・理事長経験者